

第3次

津島市環境基本計画

2026（令和8）年度～2035（令和17）年度

概要版

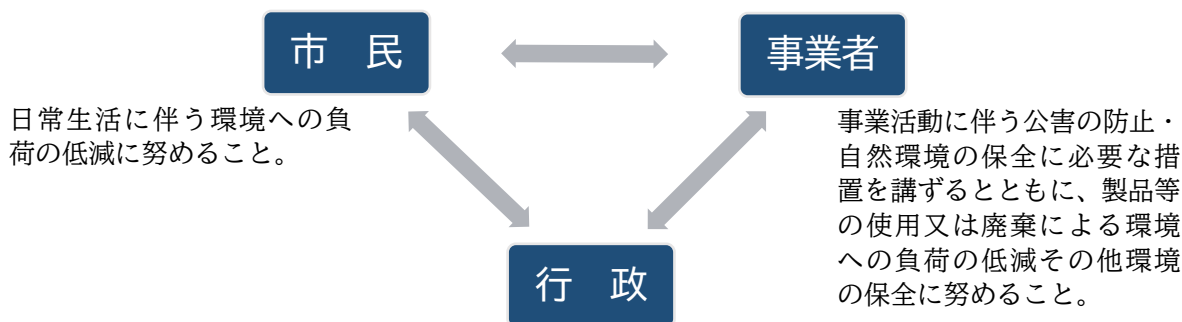
ともにつくり、未来へつなぐ 循環と共生のまちづくり

地域の人・モノ・資金の循環によって様々な行動がつながり、循環のサイクルを重ねることによって活動を拡大し、不足する資源を補完し合いながら、様々な分野にわたる地域の課題を統合的に解決しつつ、自然と人と地域が相互に支え合って共生し、地域が主体となって複雑化・高度化する環境の課題を解決できる持続可能なまちを目指します。

計画で対象にしている範囲

自然環境	生活環境	都市・快適環境	広域・地球環境
農地・樹林地、水辺地、動植物・生態系	公害（大気汚染、水質汚濁、地盤沈下、騒音・振動・悪臭）、廃棄物処理、生活排水、地域美化	土地利用、都市公園・緑地、交通、防災	エネルギー、地球温暖化

この計画では、地域の特性に応じた環境の保全に関する施策を設定し、各主体が担う主な役割に応じて、施策ごとに具体的な取組例を提示しています。



環境の保全に関し、市の区域の自然的社会的条件に応じた基本的かつ総合的な施策を策定し、実施すること。

基本目標 1

緩和と適応でゼロカーボンを目指すまち

二酸化炭素排出量を削減して地球温暖化の進行を抑える緩和策と気候変動の影響により増加する熱中症や水害等による被害の回避・軽減を図る適応策に同時に取り組むため、脱炭素型まちづくりを推進し、一人ひとりが自分事として行動することによって、地域全体で 2050 年ゼロカーボンシティ（二酸化炭素排出量実質ゼロ）の実現を目指します。

◆地域における地球温暖化対策の促進

省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の利用促進、移動手段の脱炭素化の促進、地域の脱炭素化の推進

◆公共施設における地球温暖化対策の推進

再生可能エネルギー等の活用促進、建築物等における省エネルギーの推進、市の業務における環境配慮の促進

◆気候変動の影響に対する適応策の促進

健康被害対策の推進、水害対策の推進、農業に関する適応策の推進、生態系・社会経済活動の持続性の確保



基本目標 2

人と生きものが共生するまち

人の営みに多くの恩恵を与える生物多様性の損失を止め、回復させるため、水田等の農地、まちなかの緑、縦横に流れる河川・水路といった地域の自然環境の維持・回復を図るとともに、自然から得られる恩恵を活用して人の営みを維持しながら、身近な生態系を保全することによって、自然と生きものが共生できるまちの実現を目指します。

◆多様な生きものが生息・生育できる環境の保全

地域の生態系の維持・回復、農地環境の保全、緑地・水辺の保全、生態系ネットワークの形成

◆人と自然との共生の推進

生きものの生息・生育状況の把握と共有、自然にふれあう機会の充実



基本目標 3

資源を循環させるまち

資源の大量生産、大量消費、大量廃棄を伴う従来の経済システムから循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を促進するため、各主体の意識と行動に「つくる責任・使う責任」を浸透させ、資源を有効に活用するとともに、廃棄物を適正に処理することによって、資源を適切に循環させることのできるまちの実現を目指します。

◆資源循環の推進

ごみの発生抑制の促進、地域の資源循環システムの構築

◆廃棄物の適正処理の推進

廃棄物の適正な排出と処理の推進、不法投棄・不適正処理対策の推進、災害廃棄物の迅速な処理の確保



基本目標 4

心地良さが感じられる安全・安心なまち

人の営みと自然が共生する地域の魅力を生かし、自然との距離が近く身近にふれあうことのできる環境を維持・向上させるとともに、情報共有と相互理解による公害防止や水田等の遊水機能や太陽光発電設備を活用した防災・減災対策を付加することによって、都市環境と自然環境が融合した心地良さが感じられる安全・安心なまちの実現を目指します。

◆緑と水による生活空間の快適さの向上

公共空間における緑化の推進、地域における緑化の推進、緑と水と共生する生活空間の魅力向上

◆暮らしの安全・安心の確保

健全な水環境の維持・回復、都市・生活型公害等の対策の推進、地域資源を活用した防災・減災機能の充実



基本目標 5

学びとパートナーシップが根付くまち

地域の環境課題が地球温暖化を始めとする地球規模で進行する問題とつながる中、一人ひとりの行動をその解決につなげるため、ライフステージに応じた教育・学習や情報の共有によって、意識の向上・変革を促し、行動できる能力を身に付けるとともに、主体内や主体間での協働・連携を活性化することによって、学びとパートナーシップが根付くまちの実現を目指します。

◆地域で行動する人材の育成

保育園等での環境教育の推進、地域・職場での環境学習の推進

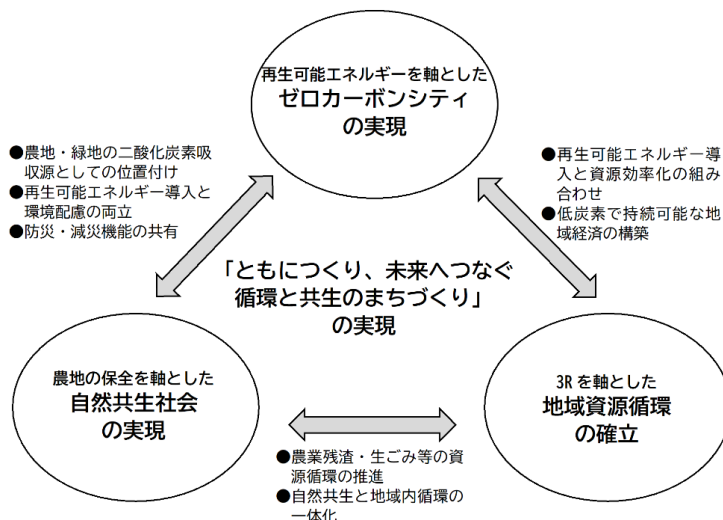
◆連携・協働による環境保全活動の推進

環境に関する情報の充実、環境保全活動の推進、パートナーシップによる施策の推進



重点環境戦略

地域の特性を生かした構造的な転換を図り、将来にわたり持続可能なまちとして発展していくために、3つの視点による重点環境戦略が相互かつ重層的に関わり合うことを認識しつつ、地域の環境資源を最大限に活用して取り組むことによって、環境・経済・社会が統合的に向上した「循環と共生のまちづくり」を実現します。



津島市環境基本計画に含まれる 環境に関連する 4 つの個別計画

- ・市の区域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進します。

- ・ **目 標**：2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しつつ、二酸化炭素排出量を2013年度比で2030年度46%削減、2035年度60%削減としています。

- ・ **主な施策**：省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の利用促進、移動手段の脱炭素化の促進、地域の脱炭素化の推進

津島市地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）



- ・市の事務及び事業における温室効果ガス排出量の削減等に向けた取組を推進します。

- ・ **目 標**：2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しつつ、二酸化炭素排出量を2013年度比で2030年度50%削減、2035年度65%削減としています。

- ・ **主な施策**：再生可能エネルギー等の活用促進、建築物等における省エネルギーの推進、市の業務における環境配慮の促進

津島市地球温暖化対策 実行計画（事務事業編）



- ・地球温暖化その他の気候の変動に起因して、生活、社会、経済又は自然環境において生ずる人の健康又は生活環境の悪化、生物の多様性の低下等の被害の防止又は軽減を図るための取組を推進します。

- ・ **目 標**：設定されていません。

- ・ **主な施策**：健康被害対策の推進、水害対策の推進、農業に関する適応策の推進、生態系・社会経済活動の持続性の確保

津島市気候変動適応計画



- ・市の区域における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動の指針を定めています。

- ・ **目 標**：自然的土地利用面積の現状維持、特定外来生物の新規定着数ゼロ、生物多様性の言葉の認知度50%としています。

- ・ **主な施策**：地域の生態系の維持・回復、農地環境の保全、緑地・水辺の保全、生態系ネットワークの形成、公共空間における緑化の推進、地域における緑化の推進、緑と水と共生する生活空間の魅力向上、健全な水環境の維持・回復、地域資源を活用した防災・減災対策の充実

生物多様性つしま戦略

